

共同住宅で快適に暮らすための

音への気づきと工夫



生活音の対策がもたらす4つの効果

居住者にとってのメリット



1 近隣トラブルを未然に防げる



2 子どもがのびのび育つ安心感

大家さんにとってのメリット



3 良好な住環境は、空室対策・資産価値維持にもつながる



4 入居者同士の信頼関係が生まれ、コミュニティが生まれる

「音と向き合うためのハンドブック」では、

家庭で発する様々な音がどのように周りに伝わっているのか、
どんな工夫で音を軽減できるのかなど、
共同住宅での暮らしに役立つヒントをご紹介します。

知っていますか？

生活音の「伝わり方」

話し声、足音、おもちゃを落とす音……日常の音は、
壁や床を通じて思ったより遠いところまで伝わっています。
音の感じ方は人それぞれ。自分では小さな音だと思っても、
誰かにとっては気になる音かもしれません。

- ◆ 日常生活のどんな音が「気になる音」になっているのでしょうか？
- ◆ 共同住宅で、音はどのように伝わるのでしょうか？
- ◆ 音の問題でトラブルに発展しやすいケースとは？

詳しくはこちら



居住者ができること

ちょっとした工夫で、子どもものびのび、お隣さんもニコリ。

敷く

防音マットやラグを敷いて、衝撃音をやわらげる。
防音マットを探すときのポイントは…？



家具の配置を
工夫しよう

今家にあるものだけで出来る遮音対策とは…？



声をかける

良好な関係性があると、
相手の生活音が気になりにくい…？

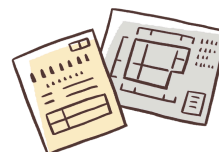


大家さん・管理会社ができること

建物の資産価値を維持し、長く住み続けられる住まいへ。

確認する

入居者に安心を伝えるために、何を確認するといいい…？



聞く

居住者から相談があった場合、
どうするとトラブルが起きにくい…？



改修する

快適性と資産価値を同時に高める方法とは…？

